

## 福祉ボランティア体験活動……たくさんのお話を学びました。

6月28日、伊達市社会福祉協議会や「だんごのかい」の皆様のご協力のおかげで、充実した体験活動を行うことができました。高齢者の方に限らず、相手の立場になって「自分にもできることはないか」と考え、行動できる人間に成長してほしいと思います。

学んだことをレポートや作文にまとめているところです。授業参観の折りなどにご覧いただければと思います。

### 【1-1 佐藤 羽空】

福祉体験を通して、高齢者や体の不自由な方、そして認知症の方の大変さがわかりました。今まであまり考えてみたことがなかったので、毎日大変な思いをしているのだなと思いました。車椅子体験を行ってみて、乗っている人と押す人のコミュニケーションも大切だと思いました。

### 【1-1 徳江みこと】

車椅子体験では、ユニバーサルデザインやピクトグラムについても教えていただきました。また、高齢者疑似体験では、黄色などの薄い色が見えづらかったり、ページもめくりにくかったりしました。認知症学習では、声のかけ方を劇の形で教えていただきました。これから、困っている人を見つけたら進んで手助けしようと思いました。

### 【1-2 今野 陽華】

車椅子体験や高齢者疑似体験をやってみて、目の見えない人や耳が聞こえにくい人、体の不自由な方は、例えば、階段を上ったり下ったりするのもとても大変だとわかりました。これからは、困っている人がいたら、自分のできることは進んで行いたいと思いました。

### 【1-2 佐藤 隆太】

この福祉体験活動を通して、高齢者の方の気持ちや大変さを学ぶことができました。実際に体験してみても驚いたのは、ひもを結ぶことです。なかなか指を曲げることができず、苦労しました。高齢者の方は毎日このような状況なので、手伝っていきたいと思います。

### 【1-3 氏家 巧人】

障がいをもつ方や高齢者への接し方を考えさせられました。これからの生活の中で障がい者や高齢者と関わる時や、困っている人を見かけた時は、今日学んだことを生かして、自分から優しく接していこうと思いました。

### 【1-3 鈴木麻衣子】

高齢者疑似体験や認知症学習を通して、思った以上に高齢者は大変だということに気付きました。高齢者は、生活するだけでも大変で、とても不安だと思います。この体験を生かして、高齢者が少しでも安心できるよう、思いやりの気持ちを忘れずに接していきたいです。

※ 裏面に、福祉ボランティア体験活動の写真を掲載しましたので、ご覧ください。

## 福祉ボランティア体験活動の様子

午前の部：車椅子体験・高齢者疑似体験・手話体験の様子

1組



2組



3組



午後の部：認知症サポーター養成講座



<次週 7月5日(月)～9日(金)の予定>

月日	朝	1	2	3	4	5	6	行事等
7/ 5(月)	漢字練習	月1	月2	月3	月4	月5	食育	食育授業 (6校時)
7/ 6(火)	漢字練習	火1	火2	火3	火4	火5	火6	
7/ 7(水)	漢字練習	水1	水2	水3	水4	水5	水6	短縮授業、清掃・部活動なし 生徒会専門委員会
7/ 8(木)	漢字練習	木1	木2	木3	木4	木5	木6	
7/ 9(金)	漢字練習	金1	金2	金3	金4	金5		短縮授業 漢字書き取り大会 (放課後)

※ 5月7日(金)から延期となった校外学習は、7月19日(月)に実施します。行先などは変更ありません。